

2025年
10/18第101回こんぼ亭「なぜ妻や母が責められるのか
家族に潜む力のかたち」報告

コンボ事務局

2025年10月18日(土)、第101回目のこんぼ亭「なぜ妻や母が責められるのか」家族に潜む力のかたち」をオンラインで開催しました。

前半は信田さよ子さん(日本公認心理師協会会長・原宿カウンセリングセンター顧問)による、家族の中の力関係やケア役割の偏り、来談者に伝える具体的な対処法など、女性や家族をめぐる講演。

後半のトークライブでは、皆さんからの質問にリアルタイムで答えていただきました。



信田さよ子さん



市来真彦さん(亭主)進行役

後半のQ&Aより二部抜粋

○親切であることと愛情の違いは？

○共依存とはどんなことか？

○共依存の弱者にして支配するメカニズムと、その支配を放手する方法は？

○I(アイ)メッセージの松竹梅とは何か？

○「嘘」と「演技」の区別の定義は？

○本音、本当の気持ちを我慢すると、自分に嘘をつくようでつらくならないか？

あったので、「このままやっ
ていけばいい」とほっとしま
した。
(匿名希望)

●わかりやすく具体的に今の自分の困りごとや夫婦関係に適用してみようと思いました。
「愛情はパワーワード」「親切にする」「二項対立で考えない」が心に刺さりました。
(ろくべえさん)

●後半の市来先生のためはさすがでしたし、皆の質問もすばらしく、信田先生の「演技」「共依存」などについて、より明確になりました。

開催後アンケートより
●私は収入がとほしく実家を出られないため、なるべく母との距離をとろうと試行錯誤していた中に演技も

また「演技でも見透かされてもいいから子の前では両親の良好な関係を見せることが大切。子は自分を護るための親の演技に感謝するから」は、機能不全の家族で育った人達の気持ちを代弁している言葉だと思います。
(匿名希望)